学校だより
頸城
令和５年７月18日　No. ４
上越市立頸城中学校
〒942-0164　頸城区潟口 60
TEL530-2405　FAX 530-2014
学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

成長した姿に出会う夏

校長　　小池　修

蒸し暑さが増す中、梅雨の合間には夏の訪れを感じる時期となりました。

学校では、各種運動競技の地区大会や上位大会が行われ、今年度も多くの頸城中生徒が熱戦を繰り広げました。

私は、カメラを片手にできるだけ多くの会場を回って、生徒の頑張る様子を見てきました。一戦一戦に力を尽くしてプレーする選手や応援はもちろんのことですが、それ以外の場面でも頸城中学校の生徒として輝く姿に出会えたことが何よりもうれしいことでした。例えば次のような姿です。

・ボールパーソンを務め、炎天下にもかかわらず、ファールボールを全速力で拾いに行く１年生の姿がありました。（野球）
・全員でコート設営を引き受け、運営担当の先生から感謝されました。（ソフトテニス）
・競技に出場する仲間を拍手で勇気付け、テントに戻ってきた際には、結果に関係なく「おつかれー」と声を掛ける姿を見かけました。（陸上）
・大会終了後、当たり前のように、会場の後片付けを率先して行っていました。（バレーボール）
・朝からずっとギャラリーの応援席で、しのぎを削る３年生の姿に一喜一憂しながら、「次は自分たちの番だ」と言いながら、応援し続ける２年生の姿がありました。（卓球）
・所属するクラブチームの仲間と談笑しながらも集中力を高め、一人、頸城中の看板を背負って試合に臨む様子がありました。（特設剣道・柔道）

また、学校に残った生徒も、仲間の活躍が報じられると声を上げて驚いたり喜んだりする姿が見られ、一体感や温かさを感じました。

教育活動の一環として学校で行う部活動は、成績や結果だけを目的にしていません。むしろ、日々の部活動を通して培った連帯感や友情、思いやりの気持ち、感謝する心、豊かな自己表現、といったものが、様々な場所や機会で活かされることに意義があると考えます。そういった意味で、この大会で生徒が見せてくれた姿は、まさに頸城中学校の生徒として自信と誇りに満ちた姿であったと思います。週休日の弁当の準備や送迎、応援など、これまでの皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

まもなく、文化活動も含めて３年生が部活動をいったん終了し、１・２年生にバトンが引き継がれます。今後も、私たちは、生徒が自分たちで相談して決める各部の目標に近付けるように励まし、自主的・自発的に活動できるよう、心と身体を大切にした指導を継続していきます。

引き続き、ご家族や地域の皆さんの励ましと見守りをよろしくお願いします。

頸城中生徒の活躍

地区各種大会

陸上部

共通男子　４００ｍ　２位　岩佐　陽日
共通男子　走高跳　　８位　宮森　碧希
共通男子　走幅跳　　７位　水澤　陽彩
共通男子　８００ｍ　７位　岩佐　陽日

卓球部

対新井中　　３－２勝
対清里中　　１－３負
対柏崎翔洋　３－１勝
対柏崎二中　２－３負→グループ４位通過
決勝トーナメント
対直江津東中０－３惜敗

野球部　予選Ｂブロック

対刈羽 WBC　３－７惜敗

ソフトテニス部　予選Ｅブロック

対柏崎第二中　２－１勝
対有志中　　２－１勝
対鏡が沖中　　０－３惜敗
個人　栗林・桑原ペア　ベスト８→県大会

柔道　美濃川真桜　２位　県大会出場

バレーボール部

予選リーグ
対柏崎南中　２－０勝
対附属中　　２－０勝
対城東中　　２－０勝→リーグ１位通過
決勝トーナメント
対春日中　　２－０勝
対潮陵中　　０－２惜敗

剣道　上野もゆか　５位　　県大会出場

県通信陸上大会

共通男子 400m　２位　岩佐　陽日
北信越大会進出